

令和8年度 全日本卓球選手権大会(一般の部)佐賀県予選

1. 日 時 【ダブルス】 令和8年11月7日(土) 午前9時より
【シングルス】 令和8年11月8日(日) 午前9時より
2. 会 場 諸富文化体育館 TEL(0952)47-7977
3. 主 催 佐賀県卓球協会
4. 種 目 ①混合ダブルス(1組) ②男子ダブルス(1組) ③女子ダブルス(1組)
(代表枠) ④男子シングルス(2名) ⑤女子シングルス(2名)
5. 選考方法 県予選会及びその他の大会結果を参考に代表を決定する。
※本大会の結果を参考に、2月に行われる「大阪国際招待卓球大会」、3月に行われる「東京卓球選手権大会」の出場者も決定します。
6. 参加資格 ①令和8年度佐賀県卓球協会に加盟登録している者
②他県の大学生(令和8年度日学連登録者)で佐賀県の高校を卒業した者は、予選会申請書を記入し、登録県の卓球協会へ封筒を添えて(宛名記入、切手添える)提出し会長印をもらった原本を、佐賀県卓球協会へ締切までに届くように郵送してください。
7. 参加制限 ①全日本卓球選手権大会に出場の意志のない人は、参加できません
②高校生で次に該当する者は参加できます(3年生は無制限)
高校1・2年生…学年別(1年の部・2年の部)各16位
③中学生で次に該当する者は参加できます(3年生は無制限)
中学1・2年生…中学卓球選手権シングルス16位まで
④令和8年度全日本カデットシングルス県予選(13歳以下の部・14歳以下の部)各16位
⑤令和8年度全日本(ホープス・カブ・バンビの部)県代表
(ダブルスで高校2年生以下が組むときは、一人が上記の条件を満たすこと)
(上記の条件をみかさずダブルスに参加した者の、シングルス参加も認める)
8. ルール ①現行の日本卓球ルール
②試合球(公財)日本卓球協会公認プラスチック球(40mmホイト)
2027年全日本一般の使用球「バタフライスリースターボール R40+」のみを使用
9. 参加料 (当日受付にて徴収致します)

シングルス	中学生以下	700円	ダブルス	中学生以下	1組	900円
	高校生	900円		高校生	1組	1,300円
	一般	1,300円		一般	1組	1,800円

※ 参加申込書の料金区分欄にも、必ず○を記入して下さい。
10. 申込方法 所定の申込用紙をメールもしくは、FAX・郵便で送付してください
11. 申込先 佐賀県卓球協会事務局 〒849-0923 佐賀市日の出1丁目19-49
TEL…(0952)97-8077 FAX…(0952)97-8078
Mail(大会参加申込専用)…saga.kentaku@iaa.itkeeper.ne.jp
12. 申込締切 令和8年10月11日(日) 必着
大阪国際・東京選手権に出場希望者も10月11日までに添付の申込書を佐賀県卓球協会へご提出ください。
13. その他 ・佐賀県卓球協会に選手登録したクラブ名・学校名で出場すること
・予選通過者が段位を取得していないときは、初段登録料が必要です。
・同一大会の3回目・5回目出場で2段・3段の取得は任意となります。

14. 【全日本卓球選手権大会】日程・会場

(ジュニア)・令和9年1月15日(金)～17日(日) 兵庫 グリーンアリーナ神戸

(一般の部)・令和9年1月19日(火)～24日(日) 東京体育館

※参加料 シングルス1名 4,000円 ダブルス1組 5,000円

(予選会当日会場で徴収します。)

※大阪国際・東京選手権の参加料も徴収します。

※全日本大会にダブルスで出場のペアは、ユニフォームを上下揃えること

年 月 日

天皇杯・皇后杯 年全日本卓球選手権大会
予選会申請書

都 道 卓球連盟
府 県 卓球協会 会長 殿

*卒業高校所在地加盟団体名を記入

下記種目において貴団体の予選会に出場を希望いたします。

ふりがな	*	男・女	年齢	
名前	*	*	* 歳	
卒業高校名	*	所在地	*	都道府県
大学名	*	登録地	*	都道府県
連絡先	*			
会員ID(9桁)	*			
* 出場を希望する種目(出場を希望する種目を○で囲む)				
シングルス		ダブルス		混合ダブルス

* 本人記入欄

(大学の登録地 加盟団体)

上記選手が登録していることを証明いたします。

年 月 日

加盟団体名

会長

印

F A X:

(卒業高校所在地 加盟団体)

上記選手が本団体の予選会に出場することを承認いたします。

年 月 日

加盟団体名

会長

印

注)この申請書は、日本学生卓球連盟に登録している選手が、卒業高校所在地の加盟団体で標記大会の予選会出場を希望する選手が使用する申請書です。

(申請の流れ)

本人 ⇒ 所属大学の登録地の加盟団体 ⇒ 本人 ⇒ 出場を希望する加盟団体

※申請者は登録地の加盟団体へ返信用封筒(宛名を記入、切手を添付)を添えて提出すること。(登録されている都道府県へご確認ください)

※予選会出場の承認した加盟団体は本用紙を所属大学の登録地加盟団体にFAXをすること。

※本大会に出場決定した場合のみ予選会出場した加盟団体より日本卓球協会事務局へ参加申込書と一緒に本用紙を提出すること。

天皇杯・皇后杯 2027 年全日本卓球選手権大会（一般の部）実施要項

（※状況により大会要項が変更される場合がございますのでご承知おきください）

- (1) 名称 天皇杯・皇后杯 2027 年全日本卓球選手権大会（一般の部）
- (2) 期日 2027 年 1 月 19 日（火）～24 日（日）
- (3) 会場 東京体育館
JR 中央・総武線「千駄ヶ谷」駅、都営大江戸線「国立競技場」駅から徒歩 1 分
〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷 1-17-1 TEL:03-6380-4832
- (4) 主催 公益財団法人日本卓球協会
- (5) 主管 一般社団法人東京都卓球連盟
- (6) 協賛
- (7) 用具協賛 株式会社タマス（ボール）
- (8) ボール振興助成
- (9) 競技種目 ①男子シングルス ②女子シングルス ③男子ダブルス ④女子ダブルス ⑤混合ダブルス
- (10) 試合方法 各種目ともトーナメント方式による。
男女シングルス第 1 ステージは 11 ポイント 5 ゲームマッチ、第 2 ステージ（ベスト 32 決定戦以降）は 11 ポイント 7 ゲームマッチ、他の種目はすべて 11 ポイント 5 ゲームマッチで行う。
- (11) 競技日程 別途連絡する。
- (12) 競技ルール
 - ① 現行の日本卓球ルールによる。
 - ② ランキング選手（S 種目の上位 16 シード、D 種目の上位 8 シード）はフリー抽選とするが、組合せ全体を通して、所属チームに関する均等配分を優先する原則と、都道府県の均等配分の原則が適用される。
 - ③ 男女シングルのランキング推薦による無条件出場選手はベスト 32 決定戦より、男女ダブルスのランキング推薦による無条件出場ペアはベスト 16 決定戦よりスーパーシードとして出場する。ただし、無条件出場選手（ペア）数がスーパーシード枠数を超える場合は、組合せ委員会規程のシード選手優先選出基準に基づき決定する。
※混合ダブルスはスーパーシードを設けない。
 - ④ 男女シングルスでは、ベスト 32 決定戦から第 2 ステージ扱いとする。
 - ⑤ 卓球台は（公財）日本卓球協会公認台を使用する。
 - ⑥ ボールは株式会社タマスの「バタフライ スリースターボール R40+」のみを使用する。
 - ⑦ ゼッケンは本大会期間中に各自に交付した本大会用のものを使用すること。
 - ⑧ 競技用のユニフォームは（公財）日本卓球協会の公認マークがついたものとし、競技用シャツは明らかに異なった色のものを 2 着以上持参すること。
 - ⑨ ラバーをラケット本体に貼る場合、揮発性有機溶剤を含んでいないものとして（公財）日本卓球協会が公認した接着剤のみを使用すること。
 - ⑩ 全選手を対象とし、その中から無作為にラケット検査を行う。その結果違反が判明した場合その選手は失格となる。
※スポーツフロアを使用することがある。
- (13) 参加資格
 - ① 選手は、2026 年度（公財）日本卓球協会選手登録者であること。また、段級制規程（注 1 参照）に定められた有段者であること。
 - ② 出場する選手は日本国籍を有する者とする。ただし、男女ダブルス、混合ダブルスは下記の各号の 1 つに該当すれば外国籍選手も参加できる。
 - (イ) 日本国民であった者の子（養子を除く）で、引き続き 3 年以上日本に住所または居所を有する者。
 - (ロ) 日本で生まれたもので、引き続き 3 年以上日本に住所または居所を有する者。またはその父、母（養父母を除く）が日本で生まれた者。
 - (ハ) 外国で生まれたもので、引き続き 10 年以上日本に居所を有する者。
 - (ニ) 日本国民の配偶者たる外国人で婚姻の日から 3 年を経過し、かつ、引き続き 1 年以上日本に住所を有する者。
 - ③ 各都道府県代表は本大会各都道府県卓球協会（連盟）主催の予選会もしくはその他適切な方法により選出されたものであること。
 - ④ 日本学生卓球連盟にも登録している者は、種目毎に大学の登録地もしくは卒業高等学校所在地の 2 ヶ所からどちらか一方を選択しエントリーすることができる。卒業高等学校所在地より出場を希望する者は、所定の申請用紙に記入し登録加盟団体へ返信用封筒（宛名を記入、切手を貼付）を添えて提出する。登録加盟団体は確認し捺印後申請者へ返却する。申請者は再度それを卒業高等学校所在地加盟団体長宛に提出をする。申請を受けた卒業高等学校所在地加盟団体長は直ちに内容を検討の上、承認した場合はすみやかに申請加盟団体に申請用紙を FAX する事。選手が本大会に出場決定した場合のみ予選会出場した加盟団体より（公財）日本卓球協会事務局へ参加申込書と一緒に本用紙（コピー可）を提出すること。

- ⑤ ダブルスは、同一都道府県内であれば所属の異なる選手同士でペアを組むことは認められる。
(異なる都道府県に登録している選手同士でペアを組むことは認められない。)
- ⑥ 同一種目における同一人の予選会出場は1ヶ所限りとする。
 ※予選会に出場して通過しなかった選手が、ブロック・日学連・高体連などから推薦されて無条件出場することは容認される。
- ⑦ 無条件出場選手の取扱い・・・下記表のとおり

	推薦母体	対象大会等	種目および人数
1	日卓協	前年度全日本選手権 (一般・ジュニアの部)	男女シングルス各16位まで、ジュニア男女各8位まで ・・・男女シングルスに
2		前年度全日本選手権 (ダブルスの部)	男女ダブルス各16位まで、混合ダブルス8位まで ・・・それぞれの該当種目に
3		当年度全日本社会人選手権	男女シングルス各8位、男女ダブルス各4位まで ・・・それぞれの該当種目に
4	日本リーグ	*当年度の日本リーグ	男女シングルス各8名、男女ダブルス各4組 ・・・それぞれの該当種目に
5	日学連	*当年度の全日本学生選手権	男女シングルス各8位まで、 <u>男女ダブルス各4組</u> ・・・それぞれの該当種目に
6	高体連	*当年度の全国高校選手権	男女シングルス各8位までの高校3年生・・・男女シングルスに 男女ダブルス各4組・・・男女ダブルスに
7	日本知的 日本肢体 日本ろうあ	*各団体より推薦	男女シングルス各1名 (3加盟団体とも)

1) 無条件出場のすべての選手は推薦母体にかかわらず必ず各都道府県卓球協会(連盟)を通じて申し込むこと。
 2) ナショナルチームおよびジュニアナショナルチームに所属する選手が国際大会、海外遠征などで予選会に出場できない場合の取扱いは強化本部規程による。または、強化本部の要請などにより(公財)日本卓球協会が特別に無条件出場を認める場合がある。その場合は当該加盟団体を通じ別途通知する。
 3) ブロック推薦による無条件出場選手は、申込書の備考欄に「ブロック推」と表示すること。
 4) ダブルスにおいて、転勤等により登録都道府県が異なった場合も無条件出場の資格は有効とする。

(14) 参加数 下記表のとおり
 表1

都道府県名	男子 単	女子 単	男子 複	女子 複	混 合 複
東京(開催地)	10	10	5	5	5
愛知	9	9	5	5	5
北海道	7	7	4	4	4
埼玉、静岡、福岡	6	6	3	3	3
神奈川、大阪、兵庫	5	5	3	3	3
千葉、京都	4	4	2	2	2
福島、茨城、栃木、新潟、長野、岡山、広島、山口、長崎、鹿児島	3	3	2	2	2
その他の県	2	2	1	1	1

表2 ブロック推薦数

	北海道	東北	関東	北信越	東海	近畿	中国	四国	九州
男子	1	2	3	1	1	2	1	1	3
女子	1	2	3	1	1	2	1	1	3

※男女シングルス(一般)とジュニア男女シングルスのいずれかで使用することができる。
(2~3枠のブロックは、男女シングルス(一般)とジュニア男女シングルスで自由に配分できることとする)

(15) 参加料 シングルス 1名 4,000円 、 ダブルス 1組 5,000円

(16) 申込方法

- ① 大会申込システムを使用して申し込むこと。
なお、主管地へは本会とりまとめの申込データを締切日翌日にメールで送付する。
参加料は、加盟団体より現金書留または振込にて（公財）日本卓球協会宛に送金すること。
【現金書留】 〒160-0013 東京都新宿区霞ヶ丘町4-2
Japan Sport Olympic Square（公財）日本卓球協会 宛
TEL：03-6721-0921 FAX：03-6721-0931
【振込】 みずほ銀行 渋谷支店 当座 No.5337 公益財団法人日本卓球協会
- ② 無条件出場の選手も含めすべての選手は推薦母体にかかわらず必ず各都道府県卓球協会（連盟）を通じて申し込むこと。
- ③ 卒業高等学校所在地の予選会で出場権を獲得した選手はその都道府県から申込みをし、無条件出場の選手は現在登録している都道府県より申込みをすること。

(17) 申込締切

2026年11月24日(火)までに申込手続きを完了すること。
申込締切日以降は大会申込システムにアクセスできない。締切期日を厳守すること。

(18) 宿泊

宿泊施設が近隣に多数ございますので、各自でご手配ください。

(19) その他

- ① 一旦申し込まれた選手の締切日以降の変更は認めない。
- ② やむを得ない事情で本大会を棄権する場合は、必ず各都道府県の加盟団体より主管地および本会宛へ指定用紙にて連絡すること。
- ③ 大会参加中、万一事故のあった場合は、本会の「会員お見舞い制度」の範囲内で対応いたします。
- ④ 病気、事故に備えて、各自健康保険証を持参してください。けが等をした場合には可能な応急処置はしますが、各自の責任に帰することとします。
- ⑤ 個人情報の取り扱いに関して
大会参加に際して提供される個人情報は本大会活動に利用するものとし、それ以外の目的に利用することはありません。詳細につきましては本会ホームページにてご確認ください。

- ⑥1. 本競技大会は、日本アンチ・ドーピング規程に基づくドーピング・コントロール対象大会である。
2. 本競技会参加者（18歳未満の競技者を含む。以下同じ）は、競技会にエントリーした時点で日本アンチ・ドーピング規程にしたがい、ドーピング・コントロール手続の対象となることに同意したものとみなす。18歳未満の競技者については、本競技会への参加により親権者の同意を得たものとみなす。
3. 本競技会に参加する18歳未満の競技者は、親権者の署名した同意書を大会に持参し携帯すること。親権者の同意書フォームは、日本アンチ・ドーピング機構（JADA）のウェブサイト（<https://www.playtruejapan.org/jada/ui18.html>）からダウンロードできる。18歳未満の競技者はドーピング検査の対象となった際に、親権者の署名が記載された当該同意書を担当検査員に提出すること。なお、親権者の同意書の提出は18歳未満時に1回のみで、当該同意書の提出後に再びドーピング検査の対象となった場合は、すでに提出済みであることをドーピング検査時に申し出ること。ドーピング検査会場において親権者の同意書の提出ができない場合、検査後7日以内にJADA事務局へ郵送にて提出すること。親権者の同意書の提出がなかった場合でもドーピング・コントロール手続に一切影響がないものとする。
4. 本競技会参加者は、本競技会において行われるドーピング検査（尿・血液等検体の種類を問わず）を拒否又は回避した場合、検査員の指示に従わない場合、帰路の移動等個人的諸事情によりドーピング検査手続きを完了することができなかった場合等は、アンチ・ドーピング規則違反となる可能性がある。アンチ・ドーピング規則違反と判断された場合には、日本アンチ・ドーピング規程に基づき制裁等を受けることになるので留意すること。
5. 競技会・競技会外検査問わず、血液検査の対象となった競技者は、採血のため、競技/運動終了後2時間の安静が必要となるので留意すること。
6. 日本アンチ・ドーピング規程の詳細内容およびドーピング検査については、公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構のウェブサイト（<https://www.playtruejapan.org>）にて確認すること。

① 2026年(2025年度)全日本卓球選手権大会(一般・ジュニアの部)による無条件出場選手(申込は都道府県卓卓から)

② 2026年(2025年度)全日本卓球選手権大会(ダブルスの部)による無条件出場選手(申込は都道府県卓卓から)

男子シングルス				女子シングルス			
1	松島 輝空	(神奈川)	木下グループ	1	張本 美和	(神奈川)	木下グループ
2	篠塚 大登	(愛知)	愛知工業大	2	早田 ひな	(福岡)	日本生命
3	張本 智和	(宮城)	トヨタ自動車	3	横井 咲桜	(大阪)	ミキハウス
4	谷垣 佑真	(愛知)	愛知工業大	4	木原 美悠	(愛知)	トップおとめピンポンズ名古屋
5	木造 勇人	(宮崎)	関西卓球アカデミー	5	大藤 沙月	(大阪)	ミキハウス
6	宇田 幸矢	(東京)	協和キリン	6	長崎 美柚	(神奈川)	木下アビエル神奈川
7	川上 流星	(神奈川)	星槎国際高横浜	7	佐藤 瞳	(大阪)	日本ペイントグループ
8	吉村 真晴	(東京)	SCOグループ	8	芝田 沙季	(大阪)	日本ペイントグループ
9	大島 祐哉	(埼玉)	琉球アスティータ	9	赤江 夏星	(大阪)	日本生命
10	戸上 隼輔	(東京)	井村屋グループ	10	麻生 麗名	(大阪)	日本生命
11	濱田 一輝	(東京)	早稲田大	11	伊藤 美誠	(大阪)	スターツ
12	三部 航平	(東京)	シチズン時計	12	笹尾明日香	(大阪)	日本生命
13	小林 広夢	(千葉)	ファースト	13	大野 紗蘭	(福岡)	希望が丘高
14	笠原 弘光	(埼玉)	888 TABLE TENNIS	14	兼吉 優花	(東京)	中央大
15	吉村 和弘	(東京)	ケアリッツアンドパートナーズ	15	平野 美宇	(神奈川)	木下グループ
16	松下 大星	(兵庫)	日の出医療福祉グループ	16	橋本帆乃香	(静岡)	デンソーボラリス
男子ダブルス				女子ダブルス			
1	篠塚 大登	(愛知)	愛知工業大	1	張本 美和	(神奈川)	木下グループ
	谷垣 佑真	(愛知)	愛知工業大		長崎 美柚	(神奈川)	木下アビエル神奈川
2	英田 理志	(兵庫)	日の出医療福祉グループ	2	平野 美宇	(神奈川)	木下グループ
	松下 大星	(兵庫)	日の出医療福祉グループ		木原 美悠	(愛知)	トップおとめピンポンズ名古屋
3	鈴木 颯	(愛知)	愛知工業大	3	麻生 麗名	(大阪)	日本生命
	萩原 啓至	(愛知)	愛知工業大		笹尾明日香	(大阪)	日本生命
4	坂井 雄飛	(愛知)	愛知工業大	4	大藤 沙月	(大阪)	ミキハウス
	面田 知己	(愛知)	愛工大名電高		横井 咲桜	(大阪)	ミキハウス
5	持田 陽向	(愛知)	愛工大名電高	5	佐藤 瞳	(大阪)	日本ペイントグループ
	月原 弘暉	(愛知)	愛工大名電高		芝田 沙季	(大阪)	日本ペイントグループ
6	松平 賢二	(東京)	協和キリン	6	藤田 知子	(愛知)	愛知工業大
	宮川 昌大	(東京)	協和キリン		伊藤 詩菜	(愛知)	愛知工業大
7	浅津 碧利	(東京)	シチズン時計	7	塩見 真希	(東京)	サンリツ
	阿部 悠人	(東京)	シチズン時計		山崎 唯愛	(東京)	サンリツ
8	飯村 悠太	(東京)	明治大	8	小畑 美月	(静岡)	デンソーボラリス
	木方 圭介	(東京)	明治大		菅澤柚花里	(静岡)	デンソーボラリス
	高木和 卓	(千葉)	ファースト		永尾 堯子	(東京)	サンリツ
	小林 広夢	(千葉)	ファースト		三村 優果	(東京)	サンリツ
	谷本 凌	(兵庫)	中央大		工藤 夢	(茨城)	レゾナック
	谷本 拓海	(兵庫)	育英高		原 芽衣	(茨城)	レゾナック
ベ	村松 凜音	(長野)	岡谷市役所	ベ	岩越 帆香	(三重)	エクセディ
	手塚 峻馬	(長野)	岡谷市役所		東川 陽菜	(三重)	エクセディ
ス	上村 慶哉	(東京)	シチズン時計	ス	青木 咲智	(大阪)	四天王寺高
	三部 航平	(東京)	シチズン時計		高森 愛央	(大阪)	四天王寺高
ト	江藤 慧	(大阪)	クローバー歯科カスビッツ	ト	木塚 陽菜	(愛媛)	愛媛銀行
	菅沼 湧輝	(大阪)	クローバー歯科カスビッツ		鶴岡 美菜	(兵庫)	神戸松蔭大
16	岡野 俊介	(岐阜)	朝日大	16	吉田 璃乃	(高知)	明德義塾中・高
	梅村 友樹	(岐阜)	朝日大		駒瀬あゆみ	(高知)	明德義塾中・高
	渡邊 峻	(岩手)	専大北上高		大川 真実	(茨城)	レゾナック
	池田 皓翔	(岩手)	専大北上高		矢島 采愛	(茨城)	レゾナック
	横谷 晟	(宮崎)	(公財)宮崎県スポーツ協会		木村 光歩	(広島)	中国電力ライシス
	三木 隼	(愛知)	愛知工業大		枝廣 瞳	(広島)	中国電力ライシス
混合ダブルス				ジュニア男子			
1	松島 輝空	(神奈川)	木下グループ	1	川上 流星	(神奈川)	星槎国際高横浜
	張本 美和	(神奈川)	木下グループ	2	中城 瑛貴	(山口)	野田学園高
2	坪井 勇磨	(大阪)	クローバー歯科カスビッツ	3	吉田 蒼	(新潟)	新潟産大附高
	赤江 夏星	(大阪)	日本生命	4	渡部 民人	(東京)	JOCエリートアカデミー/星槎
3	鈴木 颯	(愛知)	愛知工業大	5	中野 琥珀	(山口)	野田学園高
	伊藤 詩菜	(愛知)	愛知工業大	6	持田 陽向	(愛知)	愛工大名電高
4	吉村 和弘	(東京)	ケアリッツアンドパートナーズ	7	黄塚 結空	(静岡)	静岡学園高
	長崎 美柚	(神奈川)	木下アビエル神奈川	8	岩井田駿斗	(山口)	野田学園高
5	松平 賢二	(東京)	協和キリン				
	永尾 堯子	(東京)	サンリツ				
6	小林 広夢	(千葉)	ファースト				
	出澤 杏佳	(茨城)	レゾナック				
7	馬渡 元樹	(兵庫)	日の出医療福祉グループ				
	武山 華子	(東京)	中央大				
8	渡辺 裕介	(東京)	協和キリン				
	木村 香純	(東京)	トップおとめピンポンズ名古屋				
				ジュニア女子			
				1	張本 美和	(神奈川)	木下グループ
				2	小塩 悠菜	(東京)	JOCエリートアカデミー/星槎
				3	松島 美空	(京都)	田阪卓研
				4	高森 愛央	(大阪)	四天王寺高
				5	牧野 美玲	(神奈川)	星槎国際高横浜
				6	大野 紗蘭	(福岡)	希望が丘高
				7	岩見 香蓮	(静岡)	ITSUKIクラブ
				8	伊藤 友杏	(大阪)	貝塚第二中

③ (2026年) 第60回全日本社会人卓球選手権大会による無条件出場選手 (申込は都道府県卓から)

男子シングルス		女子シングルス	
1	()	1	()
2	()	2	()
3	()	3	()
4	()	4	()
5	()	5	()
6	()	6	()
7	()	7	()
8	()	8	()
男子ダブルス		女子ダブルス	
1 {	() ()	1 {	() ()
2 {	() ()	2 {	() ()
3 {	() ()	3 {	() ()
4 {	() ()	4 {	() ()

④ 2026年の日本リーグ実業団連盟推薦による無条件出場選手 (申込は都道府県卓から)

男子シングルス		女子シングルス	
1	()	1	()
2	()	2	()
3	()	3	()
4	()	4	()
5	()	5	()
6	()	6	()
7	()	7	()
8	()	8	()
男子ダブルス		女子ダブルス	
1 {	() ()	1 {	() ()
2 {	() ()	2 {	() ()
3 {	() ()	3 {	() ()
4 {	() ()	4 {	() ()

⑤ (2026年) 第92回全日本大学総合卓球選手権大会 (個人の部) からの推薦 (申込は都道府県卓から)

男子シングルス		女子シングルス	
1	()	1	()
2	()	2	()
3	()	3	()
4	()	4	()
5	()	5	()
6	()	6	()
7	()	7	()
8	()	8	()
男子ダブルス		女子ダブルス	
1 {	() ()	1 {	() ()
2 {	() ()	2 {	() ()
3 {	() ()	3 {	() ()
4 {	() ()	4 {	() ()

⑥ (2026年)第95回全国高等学校選手権大会による無条件出場選手(申込は都道府県卓から)

(注) ★:男女シングルス推薦対象者

男子シングルス		女子シングルス	
1	()	1	()
2	()	2	()
3	()	3	()
4	()	4	()
5	()	5	()
6	()	6	()
7	()	7	()
8	()	8	()
男子ダブルス		女子ダブルス	
1 {	() ()	1 {	() ()
2 {	() ()	2 {	() ()
3 {	() ()	3 {	() ()
4 {	() ()	4 {	() ()

⑦ 2026年の3加盟団体推薦による無条件出場選手(申込は都道府県卓から)

男子シングルス	女子シングルス
一般社団法人 日本知的障がい者卓球連盟	()
()	()
一般社団法人 日本肢体不自由者卓球連盟	()
()	()
一般社団法人 日本ろうあ者卓球協会	()
()	()

注1) 段級制規程要約(出場回数)

段位取得について(2025年12月の理事会で承認された段級制規程改定に基づく)

- ①全日本選手権大会(一般の部) ②全日本選手権大会(ジュニアの部) ③全日本選手権大会(団体の部)
- ④全日本選手権大会(マスターズの部) ⑤全日本社会人選手権大会 ⑥全日本実業団選手権大会

上記6大会に出場する者は、有段者であることを条件として、その段位を問わないものとする。